

## 2 令和6(2024)年度の実績

### (1) 目標の達成状況

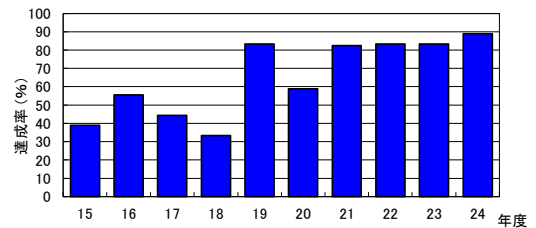
#### ア 大気環境の目標

- 二酸化窒素の対策目標値(環境基準)下限値(0.04 ppm)の達成

#### 大気環境の目標(二酸化窒素)

成果指標	策定時の値 2020年度(R2)	2023年度 (R5)実績	2024年度 (R6)実績	2030年度 (R12)目標
二酸化窒素の対策目標値(環境基準)下限値(0.04ppm)以下を達成した測定局の割合	58.8%	83.3%	88.9%	77.8%

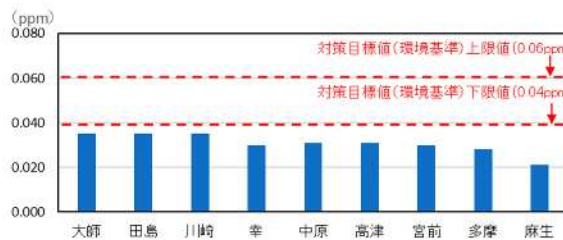
令和6(2024)年度は全18局中16局で対策目標値(環境基準)下限値(0.04 ppm)を達成(88.9%達成)しました。また、令和12(2030)年度の目標(77.8%達成)を達成するなど、順調に推移しています。



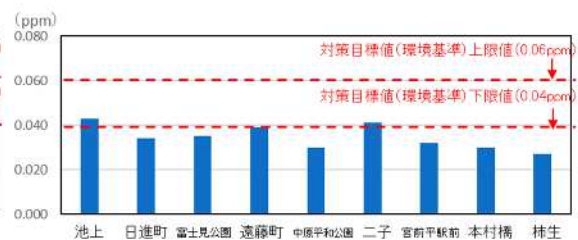
二酸化窒素の対策目標値(環境基準)下限値達成率

#### ○二酸化窒素の推移

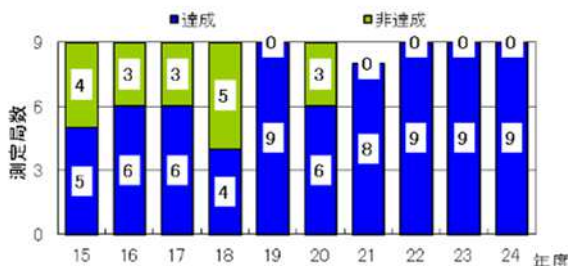
対策目標値(環境基準)下限値(0.04 ppm)の達成局数は一般局、自排局共に徐々に増加しています。また、二酸化窒素の日平均値の年間98%値(年間の1日平均値の低い方から98%に相当する値で環境基準を評価)も低下傾向です。



二酸化窒素濃度の環境基準値(対策目標値)との比較(一般局)



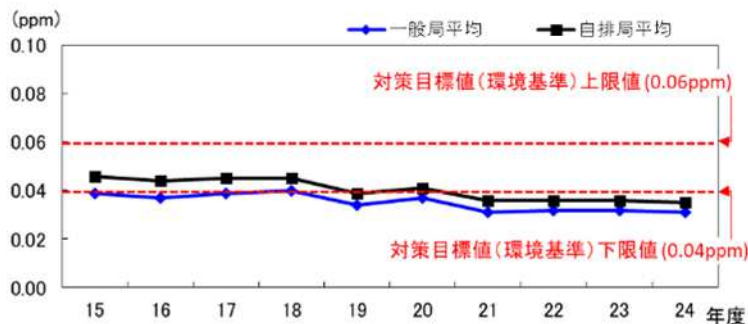
二酸化窒素濃度の環境基準値(対策目標値)との比較(自排局)



二酸化窒素の対策目標値下限値達成状況: 一般局\*



二酸化窒素の対策目標値下限値達成状況: 自排局\*



二酸化窒素の日平均値の年間98%値の推移

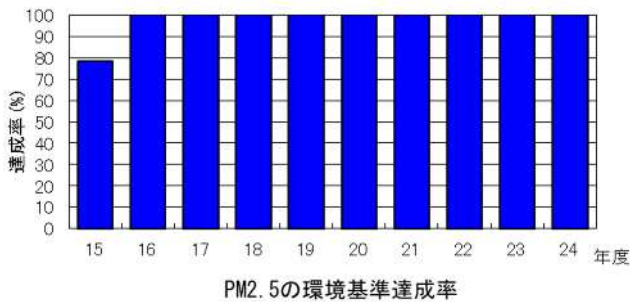
●PM2.5の環境基準の達成維持

大気環境の目標 (PM2.5)

成果指標	策定時の値 2020年度 (R2)	2023年度 (R5) 実績	2024年度 (R6) 実績	2030年度 (R12) 目標
PM2.5の環境基準を達成した測定局の割合	100%	100%	100%	100%

令和6(2024)年度は、全17局で環境基準を達成し、令和12(2030)年度の目標(100%達成維持)に向けて順調に推移しています。

令和6年度の測定結果と評価

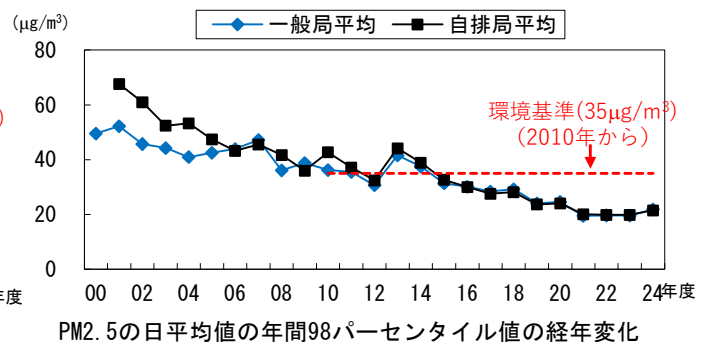
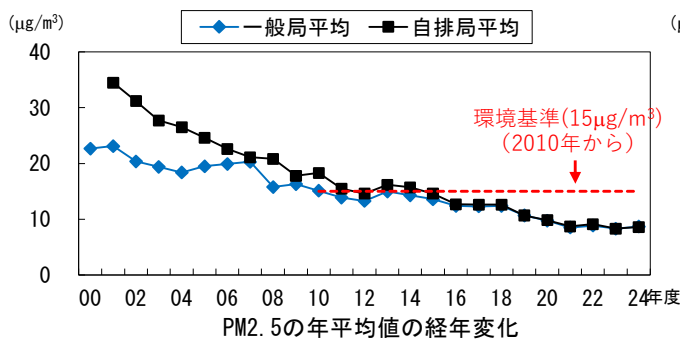
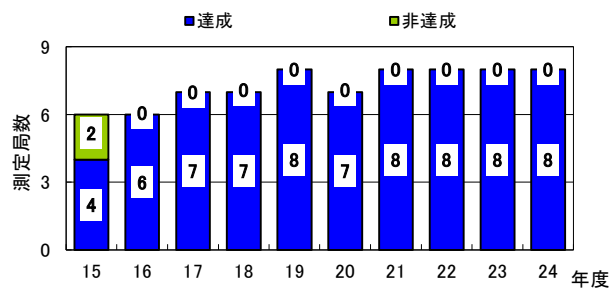
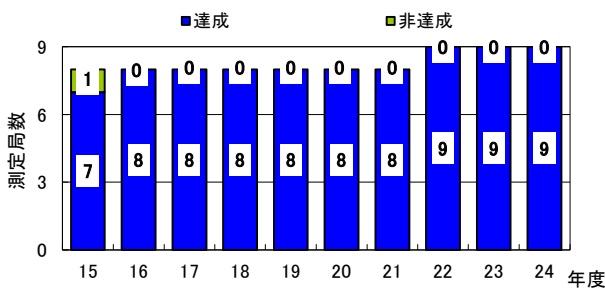


測定局 <sup>※1</sup>	環境基準評価			
	年平均値	日平均値の 年間98 パーセン タイル値 <sup>※2</sup>	評価 <sup>※3</sup>	
	μg/m <sup>3</sup>	μg/m <sup>3</sup>	○×	
一般 環境 大気 測定局	大師	9.2	23.2	○
	田島	9.9	24.8	○
	川崎	9.9	24.2	○
	幸	8.4	22.6	○
	中原	8.4	21.4	○
	高津	8.0	19.7	○
	宮前	8.0	19.7	○
	多摩	7.9	19.3	○
	麻生	8.2	21.3	○
自動車 排出 ガス 測定局	池上	9.1	22.3	○
	日進町	9.1	22.2	○
	市役所前 <sup>※4</sup>	(10.6)	(29.2)	-
	富士見公園	8.3	20.8	○
	中原平和公園	8.1	21.0	○
	二子	8.9	21.4	○
	宮前平駅前	8.4	21.1	○
	本村橋	8.0	20.7	○
柿生	8.9	22.7	○	

※1 令和6(2024)年度現在全17局(富士見公園局は令和7(2025)年3月1日に市役所前局に移転)  
 ※2 日平均値の年間98パーセンタイル値:年間の1日平均値の低い方から98%に相当する値  
 ※3 年平均値及び日平均値の年間98パーセンタイル値の両方に適合した場合に○で表示  
 ※4 有効測定日が250日に満たないことから環境基準評価を行わない。また、年平均値及び日平均値の年間98パーセンタイル値は参考値として取り扱う。

○PM2.5の推移

環境基準達成局数は一般局、自排局共に徐々に増加し、全ての測定局で8年連続で環境基準を達成しています。また、PM2.5の年平均値及び日平均値の98パーセンタイル値も低下傾向です。



●光化学スモッグ注意報発令0日

大気環境の目標（光化学スモッグ）

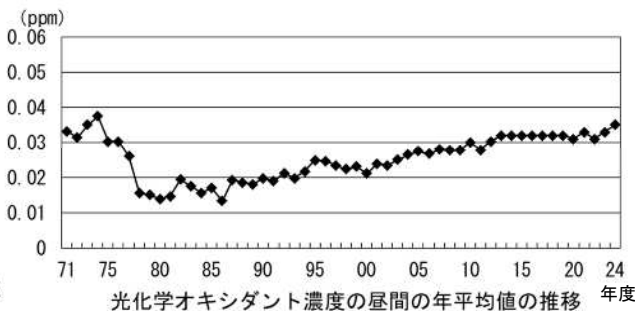
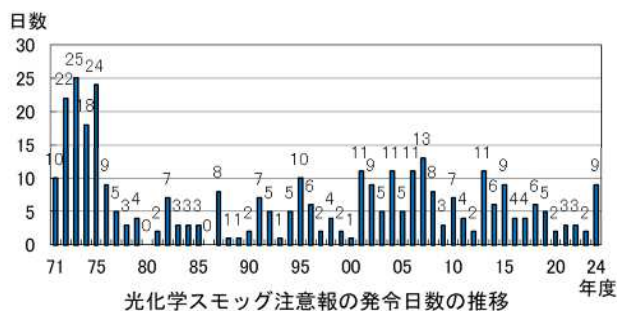
成果指標	策定時の値 2020年度(R2)	2023年度 (R5)実績	2024年度 (R6)実績	2030年度 (R12)目標
光化学スモッグ注意報の 発令日数	2日	2日	9日	0日

光化学スモッグ注意報は、光化学オキシダントが高濃度になった際に発令されます。

令和6（2024）年度の光化学スモッグ注意報の発令は9日であり、目標の0日を達成できませんでした。

○光化学オキシダントの推移

平成13（2001）年度以降は年10日前後、平成28（2016）年度以降は年5日前後で推移しています。また、光化学オキシダントの昼間の年平均値は1980年代後半から微増傾向であり、近年は横ばいで推移しています。



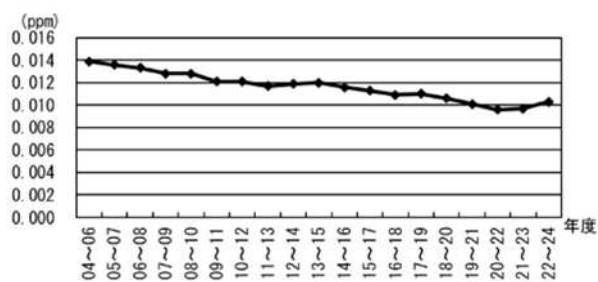
●光化学オキシダント高濃度の低減

大気環境の目標（光化学オキシダント高濃度の低減）

成果指標	策定時の値 2020年度(R2)	2023年度 (R5)実績	2024年度 (R6)実績	2030年度 (R12)目標
光化学オキシダント 環境改善評価指標値※ <sup>1</sup>	0.0106 ppm (2018～2020年度 平均値)	0.0097 ppm (2021～2023年度 平均値)	0.0103 ppm (2022～2024年度 平均値)	0.0103 ppm (2028～2030年度 平均値)

令和6（2024）年度の光化学オキシダント環境改善評価指標値※は0.0103 ppmで、令和12（2030）年度の目標（0.0103 ppm）を達成するなど、順調に推移しています。

※ 光化学スモッグ注意報が発令される対象期間である4月から10月までの日中の光化学オキシダント生成量に着目して設定  
各年度の実績は、直近3年分の平均値として算出

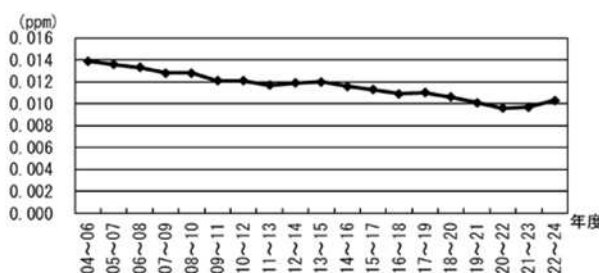


光化学オキシダント環境改善評価指標値の経年推移

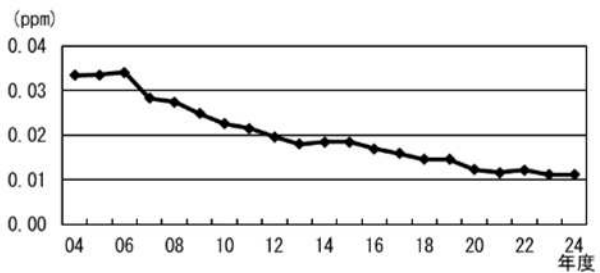
○光化学オキシダント環境改善評価指標値等の推移

光化学オキシダント環境改善評価指標値は、窒素酸化物と同様に低下傾向にあります。揮発性有機化合物（常時監視では非メタン炭化水素として測定）も長期的には低下傾向にありますが、近年は横ばいの傾向で推移しています。

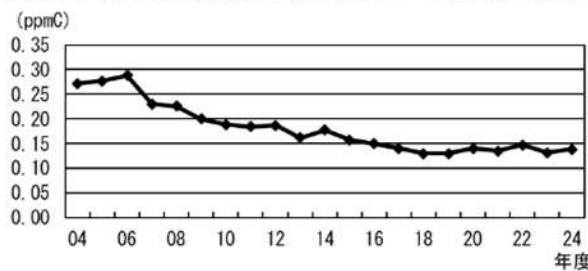
国の指標は、近年横ばいの傾向で推移しています。



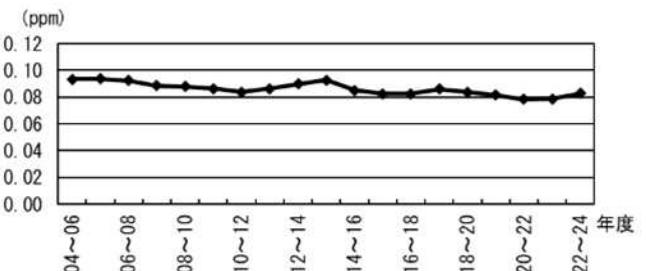
光化学オキシダント環境改善評価指標値(4～10月)の経年推移



窒素酸化物(一般局)の4～10月平均値の経年変化



非メタン炭化水素の4～10月平均値の経年変化



国の指標(光化学オキシダント濃度8時間値の日最高値の年間99パーセンタイル値の3年平均値)の経年推移

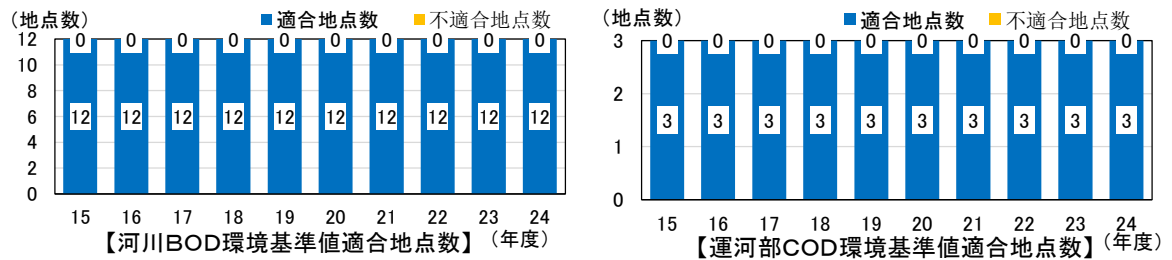
イ 水環境の目標

●河川の BOD 及び運河部の COD の環境基準値適合

水環境の目標 (BOD 及び COD)

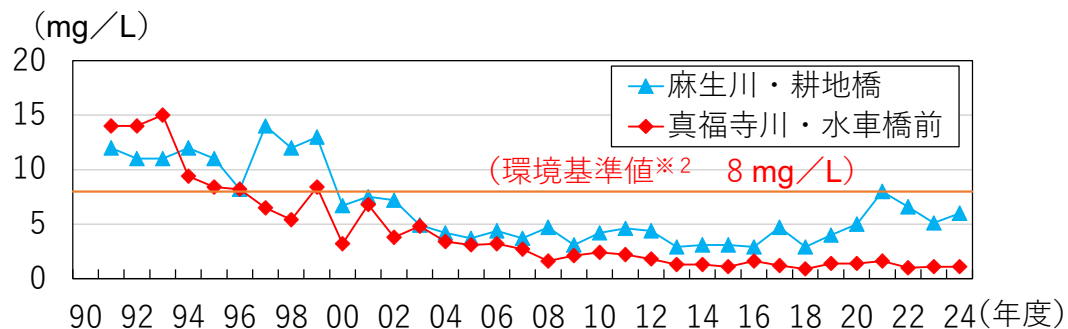
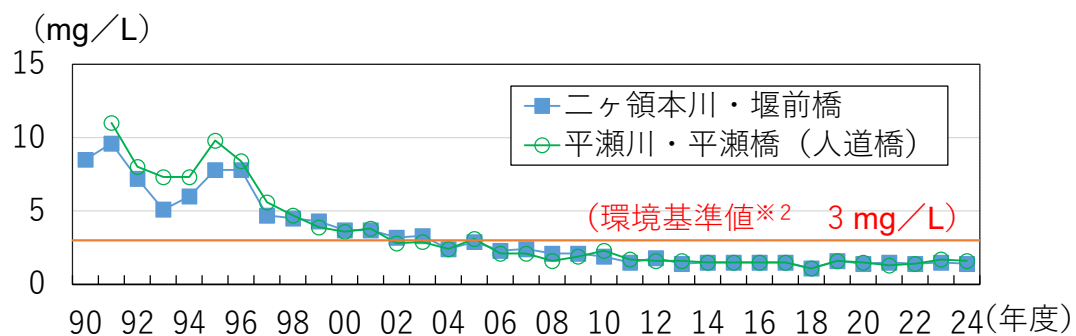
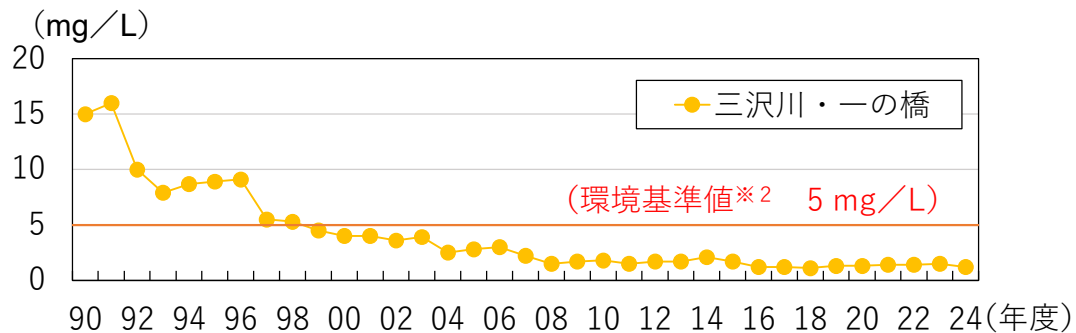
成果指標	策定時の値 2020 年度 (R2)	2023 年度 (R5) 実績	2024 年度 (R6) 実績	2030 年度 (R12) 目標
河川の BOD 及び運河部の COD の環境基準値の適合地点の割合	100%	100%	100%	100%

令和 6 (2024) 年度の河川の BOD について、12 地点全てで環境基準値に適合しました。また、運河部の COD についても 3 地点全てで環境基準値に適合しました。



○河川の BOD の推移

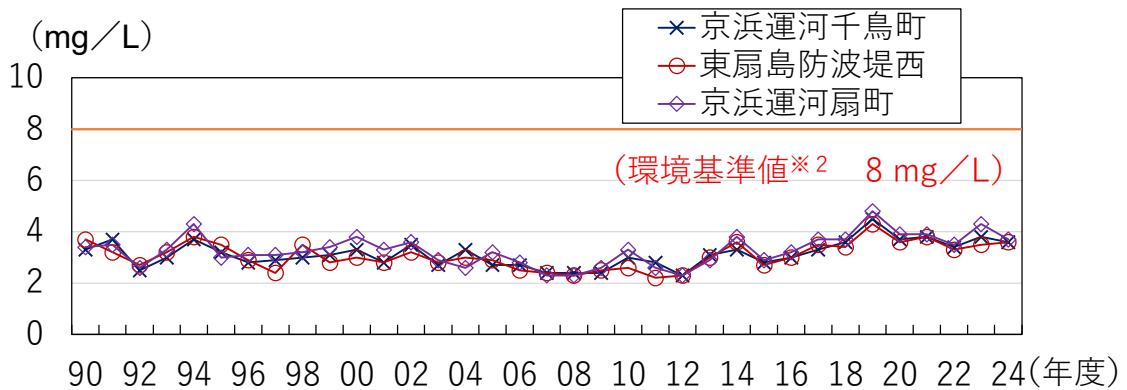
主な河川の BOD (75%水質値<sup>※1</sup>) は、河川により若干の変動はあるもののほとんどが横ばいで推移しています。



主な河川の BOD の推移 (75%水質値)

○運河部のCODの推移

主な運河部のCOD（75%水質値<sup>※1</sup>）は、横ばい又は増加する傾向が見られています。



運河部のCODの推移（75%水質値）

※1 年間の日間平均値の小さい方から75%に相当する値

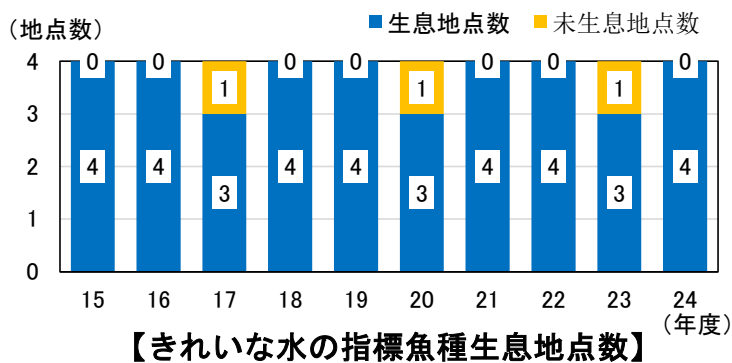
※2 BODの環境基準値は、水域によって異なります。

●「きれいな水」の指標魚種の生息地点の増加

水環境の目標（「きれいな水」の指標魚種）

成果指標	策定時の値 2020年度(R2)	2023年度 (R5) 実績	2024年度 (R6) 実績	2030年度 (R12) 目標
「きれいな水」の指標魚種の生息地点の割合	75%	75%	100%	100%

令和5（2023）年度は、4地点中3地点で「きれいな水」の指標魚種の生息を確認しました。



(指標魚種)

2024年度に確認したアユ

## 河川の水生生物調査結果（きれいな水の指標魚種の確認状況）

水系	番号	河川名	地点名	調査年度	確認した魚種の種名
多摩川水系	1	三沢川	下の橋	2022	コイ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、アブラハヤ、マルタ、ウグイ、タモロコ、カマツカ、ニゴイ、スゴモロコ類、ドジョウ、ヒガシシマドジョウ、ナマズ、アユ、ミナミメダカ、コクチバス、ヌマチチブ、カワヨシノボリ、スミウキゴリ、ウキゴリ、カムルチー
	2	五反田川	大道橋	2024	コイ、オイカワ、スゴモロコ類、ドジョウ、ドジョウ類、ナマズ
	3	二ヶ領本川	ひみず橋	2024	コイ、オイカワ、マルタ、ウグイ、ウグイ属の一種、カマツカ、コイ科の一種、ドジョウ、ドジョウ類
	4	二ヶ領用水宿河原線	東名高速下	2024	ギンブナ、オイカワ、マルタ、ウグイ、カマツカ、スゴモロコ類、コイ科の一種、ドジョウ、アユ、ヌマチチブ
	5	平瀬川	正安橋	2022	コイ、オイカワ、マルタ、ウグイ、タモロコ、カマツカ、ニゴイ、ドジョウ、ホトケドジョウ、アユ、ヌマチチブ、スミウキゴリ、ウキゴリ
	6	二ヶ領用水円筒分水下流	今井上橋	2024	コイ、オイカワ、タモロコ、カマツカ、コイ科の一種、ドジョウ、ドジョウ類、ミナミメダカ、シマヨシノボリ、ウキゴリ
鶴見川水系	7	片平川	片平橋下	2023	ドジョウ、ドジョウ属の一種、ホトケドジョウ、ミナミメダカ、メダカ、カワヨシノボリ
	8	麻生川	耕地橋	2023	コイ、オイカワ、カマツカ、ドジョウ、ナマズ、ミナミメダカ、カワヨシノボリ
	9	真福寺川	水車橋前	2023	オイカワ、ウグイ属の一種、ドジョウ、ドジョウ属の一種、ミナミメダカ、メダカ、カワヨシノボリ、トウヨシノボリ類
	10	有馬川	住吉橋	2023	ヌマチチブ、トウヨシノボリ類
	11	矢上川	日吉橋	2022	コイ、オイカワ、ドジョウ、ホトケドジョウ、ナマズ、カダヤシ、メダカ、ヌマチチブ、ゴクラクハゼ、ウキゴリ
	12	渋川	八幡橋	2022	コイ、ギンブナ、フナ属の一種、カマツカ、カマツカ類、ドジョウ、ミナミメダカ、ヌマチチブ、トウヨシノボリ類、スミウキゴリ、ウキゴリ

注 網掛けされた魚種は「きれいな水」及び「非常にきれいな水」の指標魚種

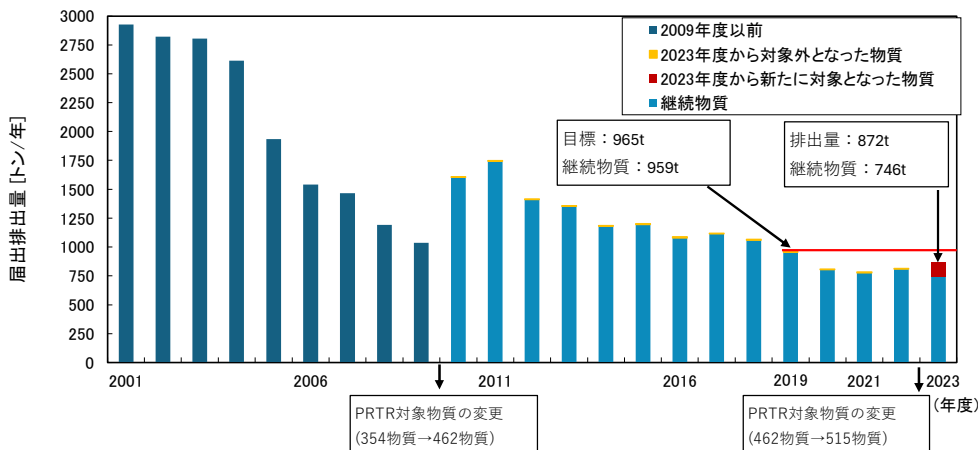
ウ 化学物質対策の目標

●市内の PRTR 対象事業所から排出される化学物質の総排出量の維持又は低減

成果指標	策定時の値 2019 年度 (R 元)	2022 年度 (R4) 実績	2023 年度 (R5) 実績	2029 年度 (R11) 目標
PRTR 対象事業所から排出される第一種指定化学物質の総排出量	965 t (継続物質※959t)	813 t (継続物質※807t)	872 t (継続物質※746t)	965 t 以下 (継続物質※959t)

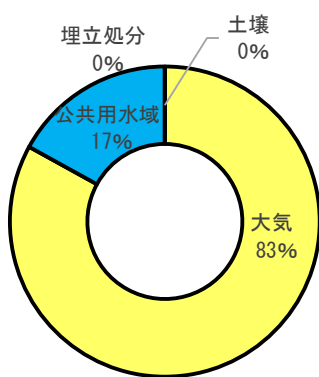
※第一種指定化学物質が令和 5（2023）年度に 462 物質から 515 物質への見直しがあったが、継続物質は策定時から継続して対象となっている物質

令和 5（2023）年度に PRTR 対象事業所から排出された第一種指定化学物質の総排出量は 872 t（継続物質 746t）で、令和 4(2022)年度と比較して、約 59 t 増加（継続物質では 62t 減少）しています。



【PRTR 対象物質の総排出量の推移】

令和 5（2023）年度の排出先の割合は、大気が 83%、公共用水域が 17%でした。排出量上位 5 物質とその主な排出先及び用途例は以下のとおりです。



【令和 5 年度排出先の割合】

【令和 5 年度排出量上位 5 物質とその主な排出先等】

順位	物質名	届出排出量 (トン/年)	主な排出先	用途例
1	ヘキサン	184	大気	溶剤、ガソリン成分等
2	トルエン	93	大気	接着溶剤、合成原料、ガソリン成分等
3	塩化メチル	87	大気	合成原料、溶剤等
4	キシレン	63	大気	塗料溶剤、合成原料、ガソリン成分等
5	シクロヘキサン	59	公共用水域	ナイロン原料、有機溶剤、塗料、

エ 市民実感

- 大気や水などの環境が良好であるという市民実感の向上

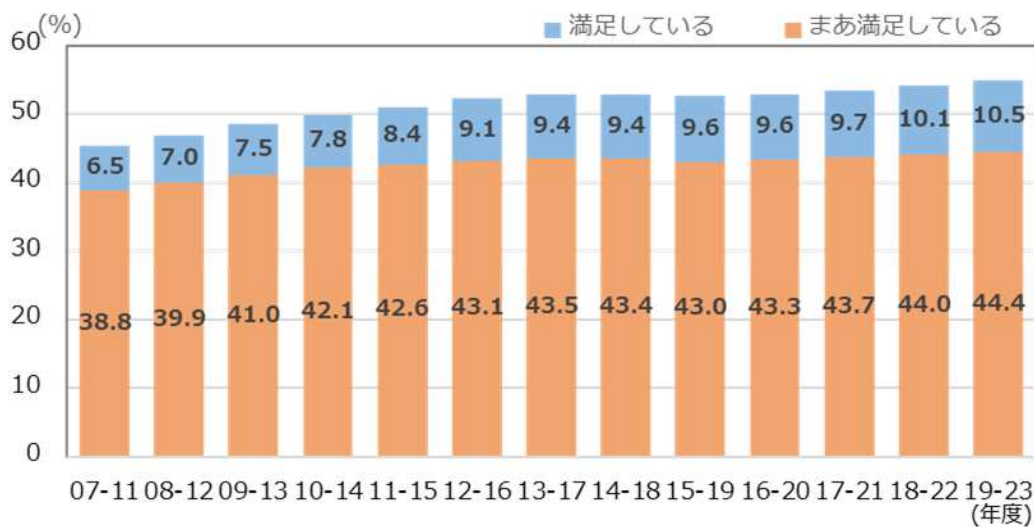
**市民実感の目標**

成果指標	策定時の値 2020年度(R2)	2022年度 (R4)実績	2023年度 (R5)実績	2030年度 (R12)目標
市内の空気や川、海のきれいさの満足度(かわさき市民アンケート「生活環境の満足度」)	52.9% (2016~2020 年度平均値)	54.1% (2018~ 2022年度平 均値)	54.9% (2019~2023 年度平均値)	55.0% (2026~2030 年度平均値)

かわさき市民アンケート「生活環境の満足度」による平成31~令和5(2019~2023)年度の市内の空気や川、海のきれいさの満足度(過去5年間の平均値)は54.9%が「満足している」「まあ満足している」と回答し、平成30~令和4(2018~2022)年度と比較して、わずかに増加しました。

**令和5(2023)年度調査結果(市民の空気や川、海のきれいさの満足度)**

項目	回答(%)	項目	回答(%)
満足している	10.3	まあ満足している	45.4
少し不満である	23.6	不満である	11.9
わからない	2.1		



**【市民の空気や川、海のきれいさの満足度の経年推移】**